

令和3年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム慶福育児会麻布慶福苑		施設番号	K 130
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和3年度)	改善計画 (令和3年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和4年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和4年4月30日時点)
「職員とリーダー層との信頼関係を構築し、専門性の高い職員育成のために教育研修計画の策定の取り組みが求められる」について	施設は利用者の生活の場であることから、介護職員の勤務は24時間対応の変則勤務となり、職場会議に全員揃うことは困難になっている。その状況を克服するためにも、リーダー層(経営層)が人事考課制度の面接の機会を通じて、職員一人ひとりの意思と到達状況を踏まえて教育研修計画を策定することにより、職員とリーダー層(経営層)との信頼関係が構築され、専門性の高い職員育成が可能となる。施設は職員一人ひとりの到達状況を踏まえた教育研修計画の策定できていないことから、是非、その取り組みの実施を期待する。	職員会議等全員揃う会議の開催は今後も困難であることから、改めて介護情報システムを利用した申し送り・全体周知を徹底する。申し送り簿には確認したことをチェックする欄があるのでチェック漏れを確認する。夜勤者と日勤者との引継ぎを主とした対面による申し送りは可能であるかことから多職種を含めた申し送りを、事故防止の観点からも情報共有を徹底する。既存の介護職員新人教育オリエンテーション分担表を利用し、実施時期を明記することにより内容及び担当者と合わせることで研修計画として位置付ける。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。新人育成委員会を新たに立ち上げ、メンバーは介護、看護、事務長、施設長とし、具体的な研修内容の他、新人育成に関わる内容を検討・実施している。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
「BCP・マニュアル・手順書を写真や動画を駆使して誰にも分かりやすい、理解しやすいものにするのが期待される」について	施設では、大規模災害対策のBCP(事業継続計画)や食事介助、排泄介助、入浴介助、口腔ケア、オムツケア等のマニュアルを作成している。また、マニュアルには有効期限を示し各種委員会で定期的に見直しを行っており、見直しの際には、利用者全体の現況を生かした内容に変更するように努めている。一方で、写真を掲載して解説したり、動画を駆使する技術を取り入れの作成がなく、そのことは職員も課題と感じている。今後、見直しの際には、新入職員も含めだれもが分かりやすい、理解しやすいマニュアル作成に工夫が望まれる。	マニュアル見直し時に、写真等取り入れてより分かりやすいものに工夫する。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。大規模災害対策のBCPについては、写真を取り入れた内容に変更する。各種マニュアルについては担当する委員会にてより分かりやすい内容に変更を行っていく。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
「ホームページ(「HP」)を刷新することを視野に、編集内容を改善することが期待される」について	施設は「HP」で事業と活動等の内容を紹介している。社会的に福祉人材確保が年々困難になっているが、「HP」の職員採用欄には募集職種・待遇等といった最低限の情報提供であり、福祉の仕事の魅力を伝えることができていない。また、施設の事業と活動の情報内容は主に利用者家族に向けてであり、しかも時系列での情報提供となっていることから、入所希望者、ボランティア、関係機関、就労を希望する人々等、ひろく知らせる点で弱さがある。「HP」を刷新することを視野に、編集内容を改善することが期待される。	介護の魅力を伝えられるような、写真を取り入れるように編集行う。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。プライバシーに配慮しつつ、施設生活の様子・雰囲気が分かる写真を掲載し福祉の仕事の魅力が伝わるよう工夫した。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和3年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。